

■IEA：新型コロナによるエネルギー分野の消費支出などへの影響を予測

国際エネルギー機関（IEA）が2020年5月27日に発表した「世界エネルギー投資2020」によれば、新型コロナ感染拡大による経済社会活動の停滞により、2019年に世界のエネルギー分野の消費支出の50%を占めていた石油や、同じく38%を占めていた電力にも大きな影響が及ぶものとみられる。2020年に世界の石油への消費支出は1兆ドル減少し、また世界の電力分野の収益は、需要減少と価格低下に加えて支払い猶予の増加の影響により、1,800億ドル減少するものと見られる。これによって、2020年には世界のエネルギー分野の消費支出に占める割合において、電力が石油を抜いて最大の支出項目に浮上する可能性がある。